

ダイオキシン類毒性等価係数見直し先送り WHO



世界保健機関（WHO）が検討中のダイオキシン類の毒性等価係数（TEF）の見直しが先送りされることになりました。当初の計画では8月26日までカナダのトロントで開かれていたダイオキシン国際会議の場でWHOの専門家会合を実施して、議定書案をまとめる予定でしたが、会議の出席者によると、直前になって予定が変更され、専門家会合自体が実施されなかったとのことで、今後の発表時期も未定です。

これまでWHOでは、見直しに向け、ダイオキシン類など関連文献に関するデータベース作成や、各国研究者への意見照会などを行ってきました。議定書案発表の先送りについては「担当者間で調整がつかなかったためではないか」とされており、関係者からは「1997年に発表された現行のTEFのように、WHOの専門誌上において前触れも無く発表されるのではないか」と憶測されています。

当社では、発生源試料（排ガス、燃え殻、飛灰、排出水、廃酸、廃アルカリ、汚泥）、環境試料（一般環境大気、土壌、底質、環境水、地下水等）、作業環境、原水、浄水、実験試料などのダイオキシン類の分析が可能です。お気軽に当社営業までご相談下さい。

資料：2005年9月7日付 環境新聞

機器分析箇所 戸邊真一

事業内容

- | | |
|----------------------|-----------------------|
| 1 環境管理に伴う調査・測定・化学分析 | 5 土壌汚染対策法に基づく土壌汚染状況調査 |
| 2 ダイオキシン類に係る濃度計量証明 | 6 労働衛生管理に伴う作業環境測定 |
| 3 ビル管理に伴う水質検査・空気環境測定 | 7 トータルサニテーション管理 |
| 4 水道法第20条に基づく水質検査 | 8 委託試験・研究・開発 |

